

<令和6年度報告書>

はじめに

今年度の最大のトピックスは2つあります。1つ目は勇美財団の補助金を使い、初めて在宅医療推進フォーラム in 室蘭を実施したこと、2つ目は長年勤めてきた事務局長の交代です。1つ目については、当連絡会の設立のきっかけを作っていただいた札幌市の坂本仁先生から室蘭で在宅医療推進フォーラムを開催できないか、とお声かけいただいたことから始まりました。当会は補助金などを使わずに定例会の参加費を収入源に身の丈にあった活動している団体です。ただせっかくの機会ということで、運営委員、幹事、事務局が中心となり準備を進め11月17日に盛会に開催することができました。詳細は別紙報告書の通りですが、午前中の「シンポジウム」午後の「医療・福祉・介護のフェスティバル」と当会の多職種ネットワークを最大限に生かした内容となり、私自身も当会の底力に改めて感動し、この会を設立して本当に良かったと実感した次第でした。

2つ目については、当会の活動休止期、コロナ禍の対面開催の自粛時期などを一緒に乗り切ってきた事務局長の退任です。以前は毎月定例会を開催していましたが、持続可能で幹事に過度に負担がかからない定例会、様々なメンバーによる運営委員体制や班体制、年間予定の策定など現在の在宅ケア連絡会の組織づくりに多大な貢献をしてもらったと思っています。先代事務局長の功績を生かしながら、後任の事務局長の活躍も大いに期待しています。

さて、当会の目的は以下の3点です。

- ・在宅ケアに関わる多職種や関係者と顔の見える関係をつくる
- ・在宅ケア推進にあたり、関係者・住民の知識の増進をはかり、相談できる場をつくる
- ・在宅ケアを広め、住民のニーズをくみ取る場をつくる

このような目的を達成するためには、定例会や市民フェスティバルなど、人が集い、対話し、交流する場が求められます。つまり魅力ある定例会のテーマや企画が必要で、運営委員や幹事で知恵を出しながら、専門職や市民の皆さんのニーズに合ったコンテンツを引き続き考えていければと思っています。

最後になりましたが、運営委員会メンバー・幹事・事務局の皆さん、そして何より当会の活動に参加いただいている皆さん、1年間どうもありがとうございました。次年度もまた楽しく集い、大いに盛り上がり、みんなで在宅ケアのネットワークを厚くしていきましょう。よろしくお願いします。

西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤弘太郎

月	形式(参加実績)	テーマ・内容
5月	講演+名刺交換 (73名) 対面開催 ※1	「名刺交換会」 今年も新年度となり新しい出会いが増え、気持ち新たに仕事に向かっている方が多い時期かと思います。新年度1回目の定例会は、当連絡会恒例となりました『名刺交換会』を開催します。皆さん個人やご所属先のアピールポイントを交えて挨拶ができる様に、工夫した企画にしたいと思っています。多くの関係者と名刺交換ができる機会です。名刺をお持ちでない方でもご参加頂けますので、お気軽にご参加ください。また、今回は事前申し込みをお願いしておりますので、申し込みの上ご参加ください。
8月	講演 (65名) 対面開催 ※2	「高齢者の食生活について」 みなさんは、関わっている高齢者の食事支援で困りごとはありませんか？ 今回は、管理栄養士の川畑さんに高齢者の食生活についてお話していただきます。内容は高齢者の身体の特徴を理解したうえで、暑い夏を乗り切るための食生活や、体重増減の対策、疾患を持つ高齢者の食事の考え方など、日頃から気になる内容がもりだくさんです。さらに、手軽な時短レシピや食品ロス対策メニューなど、お得な情報もわかりやすく教えて頂きます。今後の支援に、またご自身の食生活に役立つお話になりますので、ぜひご参加ください!事前にご質問も受け付けますので、別紙をご確認ください。
11月	講演 (108名) 対面開催 ※3	アルツハイマー病・新薬とその問題 アルツハイマー病の軽症者を対象とした新薬が使えるようになり、その効果が期待されているところでありますが、このたび、その新薬と課題について聖ヶ丘病院脳神経外科医(認知症専門医)の井上慶俊先生にご講義いただくこととなりました。認知症に関する基礎的な知識にも触れていただく予定の勉強会を企画しましたので多くの皆様のご参加お待ちしております。 今回は伊達市多職種勉強会との共催となります、ぜひご参加ください。
1月	グループワーク (51名) 対面開催 ※4	『事例検討会』#それでも家にいたい #在宅生活難しい #皆でちからを出しあおうぜ 今月は初心に帰って事例検討会を行います。ここ数年で高齢者の単身世帯が増えているの実感します。人それぞれに暮らし方があり、支援者にも柔軟な対応が求められています。 今回はひとつの事例を元に、その人らしい暮らしを支えるために各職種がどんな工夫ができるか、どう連携していけるのかについて、考えられる機会にしたいと思います。みんなで力を出し合ひましょう。
2月	グループワーク (33名) 対面開催	『高齢者自動車運転からの卒業!』 高齢者の交通事故は年々増加し、医療介護の専門職として非常に関心の高いテーマです。高齢者特有の身体機能の低下や疾患が運転に及ぼす影響をはじめ、運転に関する法制度の視点からも知識を深めたいと思っています。また室蘭警察署交通課から管内で起きた高齢者事故の実情もお話いただきます。日々の仕事の中で、運転免許の返納を進めてもなかなか難しい場合も多いですが、高齢者の事故防止の為に私たちができることを一緒に考えましょう。

※1 講師:西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤 弘太郎

※2 講師:管理栄養士 川畑 盟子 様

※3 講師:社会医療法人慈恵会 聖ヶ丘病院 医師 井上慶俊 先生 伊達市多職種勉強会との共催

※4 事例提供:居宅介護支援事業所エバーグリーン 介護支援専門員 大場 ゆうこ 様

※5 事例提供:室蘭警察署交通課 古賀 様

令和6年度 定例会 職種別 参加者数

※複数回答有のため誤差あり

ラベル	職種	5月	8月	10月	1月	2月	延べ
1	①. 医師	2	4		1	1	6
2	②. 歯科医師	1	0		0		1
3	③. 保健師	0	2		0	1	2
4	④. 看護師	10	7		8	7	17
5	⑤. ケアマネジャー	16	14		11	6	30
6	⑥. 社会福祉士	2	1		3	2	3
7	⑦. 栄養士	3	1		4	1	4
8	⑧. PT	4	4		4	3	8
9	⑨. OT	1	2		0	1	3
10	⑩. ST	1	0		0		1
11	⑪. MSW	3	0		0	1	3
12	⑫. PSW	4	7		3	1	11
13	⑬. 薬剤師	20	16		14	8	36
14	⑭. 歯科衛生士	1	3		0		4
15	⑮. 介護福祉士	2	1		1		3
16	⑯. ヘルパー	1	0		0		1
17	⑰. 生活相談員	0	0		0		0
18	⑱. 柔道整復師	0	0		0		0
19	⑲. 福祉用具	0	0		0		0
20	⑳. 医事関係者	0	2		0	0	2
21	㉑. その他()	2	1		2	1	3
合計		73	65	108	51	33	330

※11月開催のフェスティバルは除外

※10月は職種詳細不明

5月:名刺交換会

8月:高齢者の食生活について

10月:アルツハイマー病・新薬とその問題(伊達開催)

1月:『事例検討会』#それでも家にいたい

#在宅生活難しい #皆でちからをだしあおうぜ

2月:高齢者自動車運転からの卒業

第81回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ

「名刺交換会」

日時 : 5月20日(月) 18:30~20:00

会場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」
大研修室AB 室蘭市東町4-29-1



参加申込 : URL、QRコードよりサイトにアクセスし必要情報入力の上、
申し込み。(別紙参照)申込締め切り: **5月17日(金)まで**

参加費 : 500円 **※定員に達しますと参加できない場合があります。**
＜内容＞

18:30~18:35 開会挨拶

18:35~18:50 西いぶり在宅ケア連絡会について 会長 佐藤弘太郎

18:50~19:05 名刺交換会 1回目(15分)

19:05~19:20 名刺交換会 2回目(15分)

19:20~19:35 名刺交換会 3回目(15分)

19:35~19:50 名刺交換会 フリータイム(15分)

19:50~20:00 振り返り 次回予定 閉会



今月のポイント！

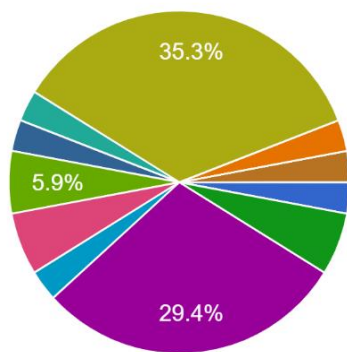
今年も新年度となり新しい出会いが増え、気持ち新たに仕事に向かっている方が多い時期かと思います。新年度1回目の定例会は、当連絡会恒例となりました『名刺交換会』を開催します。皆さん個人やご所属先のアピールポイントを交えて挨拶ができる様に、工夫した企画にしたいと思っています。多くの関係者と名刺交換ができる機会です。名刺をお持ちでない方でもご参加頂けますので、お気軽にご参加ください。また、今回は事前申し込みをお願いしておりますので、申し込みの上ご参加ください。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

34 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

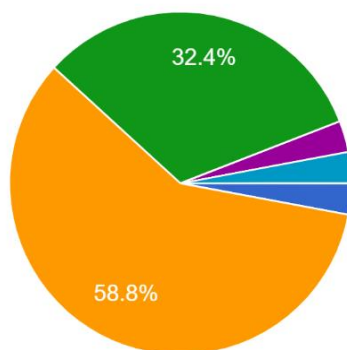
⑬薬剤師	13
⑤ケアマネジャー	10
④看護師	2
その他	9
	34

※アンケート回答者34名

定例会参加者67名

今回の研修会をどのように知りましたか？

34 件の回答

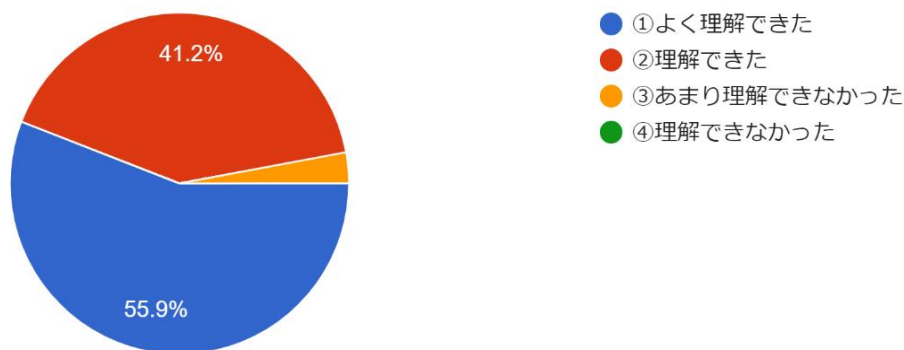


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤幹事のため
- ⑥当会幹事

①病院施設事業所のポスター	1
②知人・友人	0
③職場	20
④職能団体からの連絡	11
⑤その他	2

「西いぶり在宅ケア連絡会について」の内容

34 件の回答



①よく理解できた	19
②理解できた	14
③あまり理解できなかった	1
④理解できなかった	0

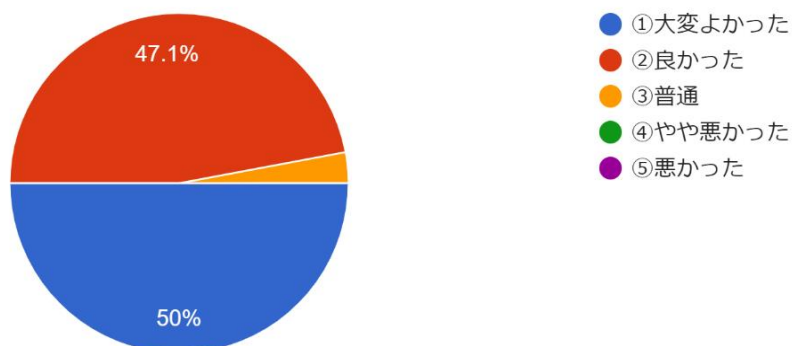
「西いぶり在宅ケア連絡会について」の感想(自由記載)

- ・多職種と接点ができて良かった
- ・大変良い活動であると思います。
- ・まだわからないことばかりですが、これから少しずつ皆さんと一緒に参加して頑張っていきます。
- ・幹事さん、いつもお疲れ様です。今年度も研修会企画、よろしくお願い致します。
- ・知らない情報を取得できる機会があってありがたいです。
- ・オープンダイアログのお話ははじめ知りました。手段の一つとして有用な情報をありがとうございます。
- ・他の職種の方々と交流ができて良かったです。
- ・広く活動されており、西いぶりの福祉や介護、医療に欠かせないつながりを作ったくださっているんだなと感じました。
- ・多職種の人と話をすることで参考になりました。
- ・10年以上続いていて関わっている方も数多くいることに驚きました。
- ・今後も出来るだけ参加したいと思います。
- ・患者様の声を取り入れながら在宅している感じがしました
- ・最新の話題について知ることができました。連絡会が目指している多職種のつながりについてイメージできました。
- ・毎回参加させて頂いております。ピンポイントで知りたい事が知れたり、多職種の方との関わりができ、仕事のうえでとても助かっています。いつもありがとうございます。
- ・どんなことをしているのが改めて知ることができた

- ・オープンダイアログを始めて知りました。
- ・遅れて参加してしまったため、名刺交換から参加しました。

名刺交換会について

34 件の回答



①大変よかった	17
②良かった	16
③普通	1
④やや悪かった	0
⑤悪かった	0

「名刺交換会」の感想(自由記載)

- ・30名程度は交換できました。
- ・多職種とお話ができ良かった
- ・様々な方との再開、出会いがあり、良い内容であると思います。
- ・伊達市内で勤務しているので、なかなか室蘭・登別の多職種の方とお会いする事も少ないので大変良かったです。
- ・知らない方と話すことができ、良かったです。
- ・会場が狭く会話するときの声が聞き取りにくかった。名刺交換会については、良かったと思います。
- ・名刺交換会も人見知りがあったかなり緊張していましたが、意外と場に溶け込めたのがうれしかったです。
- ・様々な職種の方と顔を合わせることができる貴重な機会でした。
- ・多く参加するかと思ってそれなりの名刺を持参しましたが、不足してしまいました。定員の記載があればと思いました。私の準備不足は、否めませんが・・・
- ・楽しく交流ができ良かったです。
- ・初めての参加で、福祉・医療の分野で初めましての方が多く、貴重な時間となりました。
- ・名刺入れがパンパンになりました。

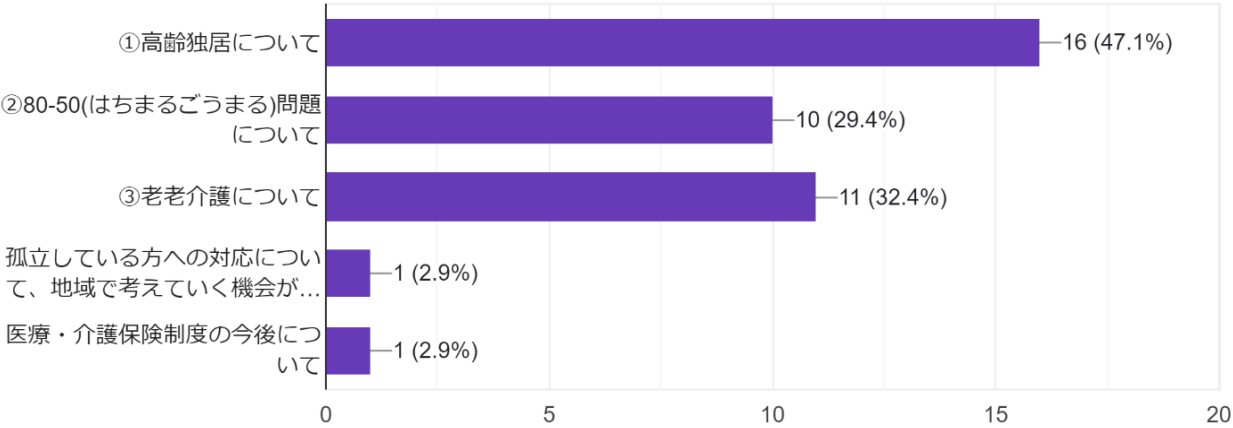
- ・電話連絡することがあっても顔を合わせたことがない方々も多くいたため、実際に顔を合わせて会話できて良かったと思います。
- ・普段顔を併せて挨拶出来ない他職種の人とも顔を併せて挨拶や雑談ができて、良かったです。
- ・多くの方々と情報交換をすることが出来、有意義な会議になりました。
- ・大勢だったので、全員の顔と名前が結びついていません
- ・特に調剤薬局勤務ですと他職種との交流機会が少ないため、貴重な機会になりました。
- ・普段あまり合わない職種の方と情報交換が出来て良かったです。
- ・他職種の方との交流が出来有意義でした
- ・ソーシャルワーカーやケアマネジャーの方の参加人数が少なかったなので、もっと挨拶できたらよかったなと思いました。
- ・初めての方、いつも関わっている方、挨拶をして名刺を渡すと背筋がピンと張るようで、清々しい気持ちになりました。誰に挨拶したのかわからなくなり、後からご挨拶していない事に気づきました。昨年も同じだったような…
- ・普段は電話だけで終わることが多いので実際会って改めて顔をみての会話ができ、より連携がしやすい関係作りにもなり良かったです

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・色々な職種の方とお話し出来たのはとても貴重な機会で良かったです。何かの縁で繋がってく事もあると思うので良かったです。
- ・初めて定例会に参加される方も多く、よいと思いました。
- ・定期的にあればうれしい
- ・名刺交換会は継続すると良いと感じています。
- ・他職種に方と名刺交換を通じてお話することが出来良かったです。ありがとうございます。
- ・他の職種の方の業務内容がわからないことが多いのでこういう場にて知ることができて良かったです。
- ・また、在宅にて他の職種の方から要望があればぜひ意見を聞けたらいいなと思います。
- ・とても良かったです。
- ・今後も続けてほしいです。
- ・楽しかったです。鳥の鳴き声も可愛かったです。
- ・以外とあっという間に終わった印象でした。

在宅ケアに関する市民向けの講演やシンポジウムを...したら、どのようなテーマが良いと思いますか？

34 件の回答



第 81 回 定例会「名刺交換会」報告書

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

新年度となり新たに在宅医療の分野に就職した方も多いと思われる。この西胆振地区の支援関係者との関係性構築や、社会資源を把握することを目的に名刺交換会を開催した。

【タイムライン】

令和 6 年 5 月 20 日（月）

- 18：30~18：35 開会挨拶
- 18：35~18：50 西いぶり在宅ケア連絡会について会長佐藤弘太郎
- 18：50~19：05 名刺交換会 1 回目(15 分)
- 19：05~19：20 名刺交換会 2 回目(15 分)
- 19：20~19：35 名刺交換会 3 回目(15 分)
- 19：35~19：50 名刺交換会フリータイム(15 分)
- 19：50~20：00 振り返り 次回予定 閉会

【参加者からの声】

- ・様々な方との再開、出会いがあり、良い内容であると思います。
- ・伊達市内で勤務しているので、なかなか室蘭・登別の多職種の方とお会いする事も少ないので大変良かったです。
- ・知らない方と話すことができ、良かったです。
- ・名刺交換会も人見知りがあつてかなり緊張していたのですが、意外と場に溶け込めたのがうれしかったです。
- ・様々な職種の方と顔を合わせることができる貴重な機会でした。
- ・多く参加するかと思ってそれなりの名刺を持参しましたが、不足してしまいました。定員の記載があればと思いました。私の準備不足は、否めませんが・・・
- ・初めての参加で、福祉・医療の分野で初めましての方が多く貴重な時間となりました。
- ・オープンダイアログを始めて知りました。
- ・電話連絡することがあつても顔を合わせたことがない方々も多くいたため、実際に顔を合わせて会話できて良かったと思います。
- ・普段顔を併せて挨拶出来ない他職種の人とも顔を併せて挨拶や雑談ができて、良かったです。
- ・特に調剤薬局勤務ですと他職種との交流機会が少ないため、貴重な機会になりました。
- ・ソーシャルワーカーやケアマネジャーの方の参加人数が少なかったなので、もっと挨拶

できたらよかったなと思いました。

- ・初めての方、いつも関わっている方、挨拶をして名刺を渡すと背筋がピンと張るようで、清々しい気持ちになりました。誰に挨拶したのかわからなくなり、後からご挨拶していない事に気づきました。昨年と同じだったような…

- ・普段は電話だけで終わることが多いので実際会って改めて顔をみての会話ができ、より連携がしやすい関係作りにもなり良かったです

【報告者からのまとめ】

昨年度も実施したが、この時期の名刺交換会は需要があると感じている。工夫した自己紹介や職場のPRなども行える場にできると、より参加することの意義も出るだろう。感想にもあったが、参加している職種の偏りが多少なりともある。特に病院勤務の専門職の参加者が少ないように感じているので、どの企画にも言えることだが、周知の方法については課題であり、さらに検討して工夫すべきと感じている。

また、せっかく集まる機会なのでタイムリーな話題提供もできればよりいいと考えており、短時間の講話を会長である佐藤弘太郎先生にお願いした。今回はオープンダイアログという対話実践について話して頂き、そちらについても好評だった。引き続き、そうした話題提供もしていきたいと思っている。

この名刺交換会は毎年恒例となるように進めたいと思っている。

第82回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ「高齢者の食生活について」

日時 : 8月19日(月) 18:30~20:00

会場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」
大研修室AB 室蘭市東町4-29-1

参加申込 : 事前の申し込み不要(当日参加OK!)

参加費 : 500円



<内 容>

18:30~18:35 開会挨拶 講師紹介

18:35~19:35 講演「高齢者の食生活について」

～高齢者の身体の特徴をとらえた栄養支援とは～

管理栄養士 川畑 盟子 様

19:35~19:55 質疑応答

19:55~20:00 閉会挨拶

20:00 閉会



今月のポイント！

みなさんは、関わっている高齢者の食事支援で困りごとはありませんか？

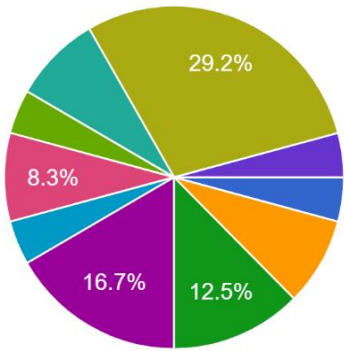
今回は、管理栄養士の川畑さんに高齢者の食生活についてお話していただきます。内容は高齢者の身体の特徴を理解したうえで、暑い夏を乗り切るための食生活や、体重増減の対策、疾患を持つ高齢者の食事の考え方など、日頃から気になる内容がもりだくさんです。さらに、手軽な時短レシピや食品ロス対策メニューなど、お得な情報もわかりやすく教えて頂きます。今後の支援に、またご自身の食生活に役立つお話になりますので、ぜひご参加ください！事前にご質問も受け付けますので、別紙をご確認ください。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

24 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

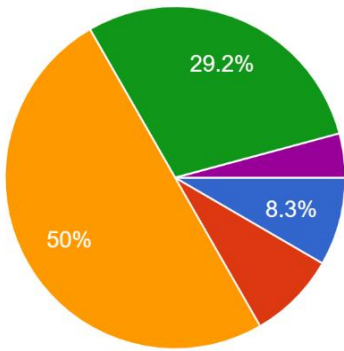
⑬薬剤師	7
⑤ケアマネジャー	4
④看護師	3
その他(保健師、PSW、栄養士等)	10
	24

※アンケート回答者 24 名

定例会参加者 43名

今回の研修会をどのように知りましたか？

24 件の回答

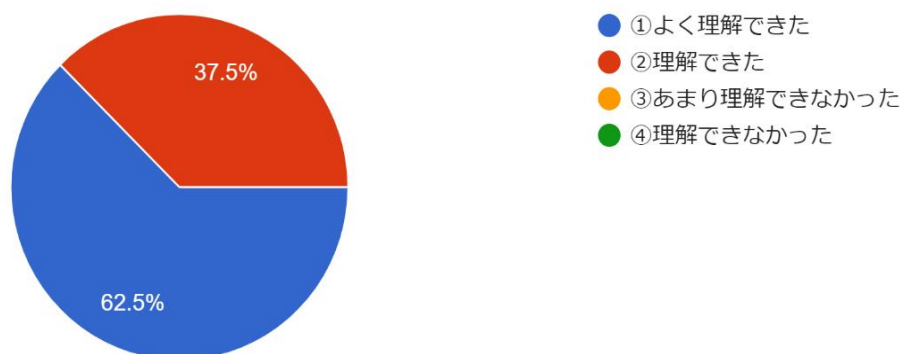


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤その他

①病院施設事業所のポスター	2
②知人・友人	2
③職場	12
④職能団体からの連絡	7
⑤その他	1

「高齢者の食生活について」の内容

24 件の回答



①よく理解できた	15
②理解できた	9
③あまり理解できなかった	0
④理解できなかった	0

「高齢者の食生活について」の感想(自由記載)

- ・高齢者が思っていたより、カロリーの摂取が必要とわかった。
- ・具体的で大変参考になりました！
- ・高齢者が食事を食べられないことは、しょうがないと思ってしまうことが多かったです。その中で今回の話を聞き、高齢者の栄養についての考え方を改めました。今後、よりよい生活を送ってもらえるよう学習したいです。
- ・医療職として、また自分や祖父母のために聞きに来ました。自分が食事しても疲れが取れない理由や太りやすくなった理由が少しわかった気がします。とても勉強になりました、ありがとうございました。
- ・きゅうりやもやしは冷凍保存できるなど、あまり教わることのない知識が多くあり大変自分ごととして参考になりましたレシピも挑戦してみたくなるものばかりでした、ありがとうございました
- ・知っていることも多かったが、こうして改めて聞くと非常に勉強になりました。
- ・太っている人も、痩せている人も何かしらの栄養素不足の方が多いことを実感しています。食の偏り、本人の思い込み、廻りの方の認識や情報不足もあるのでかろう。こんな情報と勉強の機会を多くの方達に広めていって下さい。期待してます。
- ・高齢者の方の適切な食事提供を理解する事ができました。また、水分の確認の仕方を聞いて、納得！と思いました。ありがとうございました。
- ・食事をとれない方の聞き取り方、調理例、方法がパンフレットを見ながらわかりやすかったです。
- ・今までメタボのために気をつけなくてはいけないのを高齢者になったら異なったことを認知できた事、工夫の仕方を知れて良かったです。

- ・高齢者の食事の大切さが良くわかりました。色々と良いと思っていたことが、高齢者では違うこともわかりました。低栄養だと筋肉から栄養を取り始める事がいかにダメージかもわかりました。
- ・高齢者の体重や筋肉量が減る原理について知ることができました。一人一人の背景や心理状態を理解し栄養介入することが、糖尿病や腎症の悪化予防に直結することもよくわかりました。
- ・腎機能が低下している高齢者への食事指導について、ステージに分けて教えていただき、とても勉強になりました。
- ・具体的な例などを入れながら、とてもわかりやすいお話でした。
- ・参考になった
- ・それぞれの価値観、認知機能、家族構成、などあり、とても支援が難しく日頃感じている。今日の講演はかなりその辺も考えられて、献立など考えられていると感じた。
- ・食べたらダメなものではなく、食べ方の改善をしていくというのが大事だと思いました。そのためには食習慣の聞き取りも重要だと思いました。水分に関してもこまめに取っていると言っても、飲み方を聞いてみてどのくらいの量なのか確認が大事だと思いました。
- ・川畑先生、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。食事量が少ない肥満の方に対するアセスメントの視点を学ぶことができました。
- ・具体的で分かりやすくとても勉強になりました。もっと時間をかけて聞きたいと思いました

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・役にたちました。
- ・今日はありがとうございました。
- ・もっと聞いてみたい話ばかりでした。
- ・気温が高いこともありましたが、会場が暑かったですが、川端先生のお話であっという間の時間でした。
- ・年齢や環境、病歴にあった食事とは本当に奥が深いなと思いました。栄養素を摂るための食事を心がけたらもっと可能性があるのではと思った研修でした。
- ・高齢者の色々な分野の研修も聞きたいと思いました。
- ・これまで患者さんから食事に関することを聞かれても、具体的なアドバイス等ができませんでした。
- ・今後は講演で紹介されたレシピや調理の工夫などをお伝えして、高齢者の栄養支援をお手伝いできたらと思います。
- ・ありがとうございます。
- ・食事の事は、毎日のことで大変なので定期的に講演を聞きたいです。独居の身寄りのない、单身男性などの支援がとても困ってます。
- ・参考レシピも自身が作りたいと思うものばかりでした。冷凍加工も参考になりました。
- ・受付のQRコードは楽ちんですね。

第 82 回 定例会「高齢者の食生活について」報告書

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

高齢者について、在宅での一人暮らしをされている方など、食生活への課題が多いと聞く。高齢者の食生活や栄養について、よくある課題や支援者が知っておくべき栄養についての情報について知ることは有益だろうと考えた。当会幹事でもある栄養士川畑さんを講師にお迎えし、これまでの支援経験から話題提供して頂く。「夏に関連した、食欲低下への対策についての話題」「保管、冷凍食に関するメニューのアイデア」「体重低下を目標にして方への食事提供・腎臓に障害のある方への食事提供」などについても触れてもらう。

【タイムライン】

令和 6 年 8 月 19 日（月）

18：30～18：35 開会挨拶 講師紹介

18：35～19：35 講演「高齢者の食生活について」

～高齢者の身体の特徴をとらえた栄養支援とは～ 講師：管理栄養士 川畑盟子様

19：35～19：55 質疑応答

19：55～20：00 閉会挨拶

20：00 閉会

【参加者からの声】

- ・高齢者が思っていたよりカロリーの摂取が必要とわかった。
- ・具体的で大変参考になりました！
- ・高齢者が食事を食べられないことは、しょうがないと思ってしまうことが多かったです。その中で今回の話を聞き、高齢者の栄養についての考え方を改めました。今後、よりよい生活を送ってもらえるよう学習したいです。
- ・医療職として、また自分や祖父母のために聞きに来ました。自分が食事しても疲れが取れない理由や太りやすくなった理由が少しわかった気がします。とても勉強になりました、ありがとうございました。
- ・きゅうりやもやしは冷凍保存できるなど、あまり教わることのない知識が多くあり大変自分ごととして参考になりました。レシピも挑戦してみたくなるものばかりでした、ありがとうございました。
- ・知っていることも多かったが、こうして改めて聞くと非常に勉強になりました。
- ・太っている人も、痩せている人も何かしらの栄養素不足の方が多いことを実感しています。食の偏り、本人の思い込み、廻りの方の認識や情報不足もあるのでしょう。こん

な情報と勉強の機会を多くの方達に広めていって下さい。期待してます。

・高齢者の方の適切な食事提供を理解する事ができました。また、水分の確認の仕方を聞いて、納得！と思いました。ありがとうございました。

・食事をとれない方の聞き取り方、調理例、方法がパンフレットを見ながらわかりやすかったです。

・今までメタボのために気をつけなくてはいけないのを高齢者になったら異なったことを認知できた事、工夫の仕方を知れて良かったです。

・高齢者の食事の大切さが良くわかりました。色々と思い込んでいたことが、高齢者では違うこともわかりました。低栄養だと筋肉から栄養を取り始める事がいかにダメージかもわかりました。

・高齢者の体重や筋肉量が減る原理について知ることができました。一人一人の背景や心理状態を理解し栄養介入することが、糖尿病や腎症の悪化予防に直結することもよくわかりました。

・腎機能が低下している高齢者への食事指導について、ステージに分けて教えていただき、とても勉強になりました。

・それぞれの価値観、認知機能、家族構成、などあり、とても支援が難しく日頃感じている。今日の講演はかなりその辺も考えられて、献立など考えられていると感じた。

・食べたらダメなものはなく、食べ方の改善をしていくというのが大事だと思いました。そのためには食習慣の聞き取りも重要だと思いました。水分に関してもこまめに取っていると、飲み方を聞いてみてどのくらいの量なのか確認が大事だと思いました。

【報告者からのまとめ】

改めて、高齢者にとって食生活が大切であることを理解できる機会になった。川畑さんの講話は、具体的で実際の食材やその使用する量など、数値でも表してくれて非常にわかりやすく実践に活かしやすいものばかりだった。これまで在宅訪問する支援者が、気づいていても見過ごしがちだった食に関する指導について、どの職種でも意識して支援していかなければならない話題であることを共有できた。また、近年では特に蒸し暑く感じる北海道において、蒸し暑い中での保存食の作り方や野菜の保管方法など説明もして頂き、そちらも支援者にとって大切な話題になったと感じている。

第83回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会 伊達市多職種勉強会

テーマ「アルツハイマー病・新薬とその課題」
～認知症の理解をより深めるために～



日 時 : 10月22日(火) 18:30～20:00(受付:18:00)
会 場 : だて歴史の杜 カルチャーセンター 視聴覚室
伊達市松ヶ枝町34番地1

参加費 : 無料 (事前申込み不要、当日参加OK)

<内 容>

18:30～18:35 開会
18:35～19:50 講演「アルツハイマー病・新薬とその課題」
講師: 社会医療法人慈恵会 聖ヶ丘病院
医師 井上慶俊 氏
(脳神経外科専門医、認知症専門医)
19:50～20:00 質疑応答
20:00 閉会

今月のポイント！伊達市多職種勉強会との共催！

アルツハイマー病の軽症者を対象とした新薬が使えるようになり、その効果が期待されているところでありますが、このたび、その新薬と課題について聖ヶ丘病院脳神経外科医(認知症専門医)の井上慶俊先生にご講義いただくこととなりました。認知症に関する基礎的な知識にも触れていただく予定の勉強会を企画しましたので多くの皆様のご参加お待ちしております。

今回は伊達市多職種勉強会との共催となります、ぜひご参加ください。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道社会福祉士会日胆支部

第83回 定例会「アルツハイマー病・新薬とその課題」

【担当幹事】 古屋 英一郎

【今回の目的】

アルツハイマー病の軽症者を対象とした新薬が使えるようになりその効果が期待されているところであるが、その新薬と課題について聖ヶ丘病院脳神経外科医師（認証専門医）である井上先生にご講義をいただくことになりました。認知症に理解をより深めるために基本的知識についても触れていただく勉強会を企画。

【タイムライン】

令和6年10月22日（火）

18:30～18:35 開会あいさつ（伊達市在宅医療介護連携推薦センター沼田氏）

18:35～20:00 講演「アルツハイマー病・新薬とその課題」

講師：聖ヶ丘病院医師

脳神経外科専門医 認知症専門医 井上 慶俊 様

20:00 閉会

【研修内容】

井上先生による講義では、認知症の期本についての講演と新薬レカネマブについて詳しく説明がある。新薬はアルツハイマー型認知症の治療薬として使用されるもので、アミロイド β タンパクを脳内から取り除くことで病気の進行を抑える治療法であるため、治療についてはアミロイド β の蓄積が事前にあるのか検査が必要であり、アミロイドPETか髄液検査が必須となる。副作用の可能性もあり半年に1回の検査が必要である他、18か月治療継続が前提の説明等がある。費用についても高額になる他、効果も予防としての段階であるため、主観であるが劇的な改善薬ではないとのことである。

また、事例的にも室蘭近郊でアミロイドPETは無く、唯一対応病院は市立室蘭病院で、脳神経外科と連携し髄液検査で対応、現時点で症例は1件との報告である。

井上先生としては積極的には勧めない治療であり、対応としては周辺症状としての対応方法や認知症の理解を深めていく方が大切との説明があり、現場としても実践的な考えであることを実感する。

【参加者】

伊達市在宅医療介護連携 54名 西いぶり在宅ケア連絡会 54名 合計108名

第84回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

『事例検討会』

テーマ

#それでも家にいたい #在宅生活難しい #皆でちからを出しあおうぜ

日時 : 令和7年1月20日(月) 18:30~20:00

会場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」
大研修室AB 室蘭市東町4-29-1

参加費 : 500円 (事前申込み不要、当日参加OK)



<内容>

18:30~18:40 開会

18:40~18:55 事例紹介

居宅介護支援事業所エバーグリーン
介護支援専門員 大場 ゆうこ 様

18:55~19:25 グループワーク

19:25~19:40 グループ発表

19:40~19:50 事例報告

19:50~20:00 質疑応答・次回予告

20:00 閉会



今月のポイント！

今月は初心に帰って事例検討会を行います。ここ数年で高齢者の単身世帯が増えているの実感します。人それぞれに暮らし方があり、支援者にも柔軟な対応が求められています。

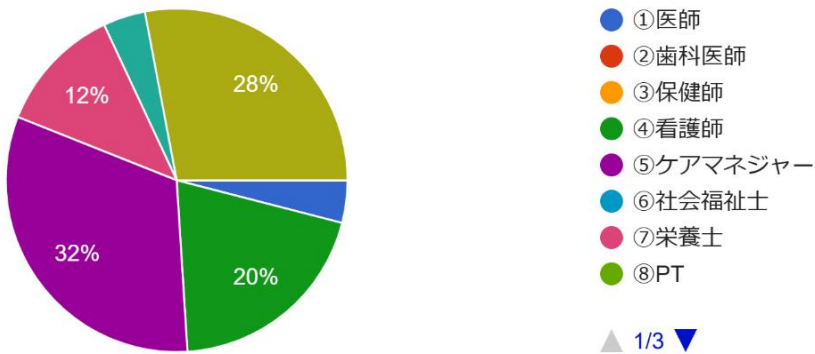
今回はひとつの事例を元に、その人らしい暮らしを支えるために各職種がどんな工夫ができるか、どう連携していけるのかについて、考えられる機会にしたいと思います。みんなで力を出し合いましょう。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道社会福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

25 件の回答



- ① 医師
- ② 歯科医師
- ③ 保健師
- ④ 看護師
- ⑤ ケアマネジャー
- ⑥ 社会福祉士
- ⑦ 栄養士
- ⑧ PT

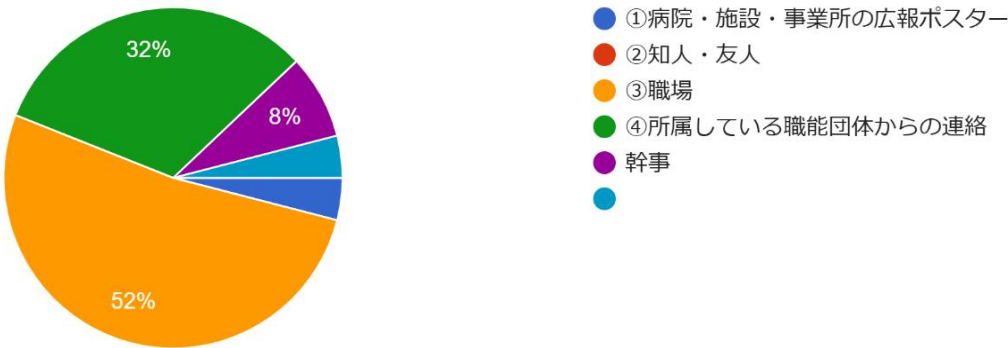
▲ 1/3 ▼

⑤ ケアマネジャー	8
⑬ 薬剤師	7
④ 看護師	5
その他(医師、PSW、栄養士等)	5
	25

※アンケート回答者 25 名
定例会参加者 47名

今回の研修会をどのように知りましたか？

25 件の回答

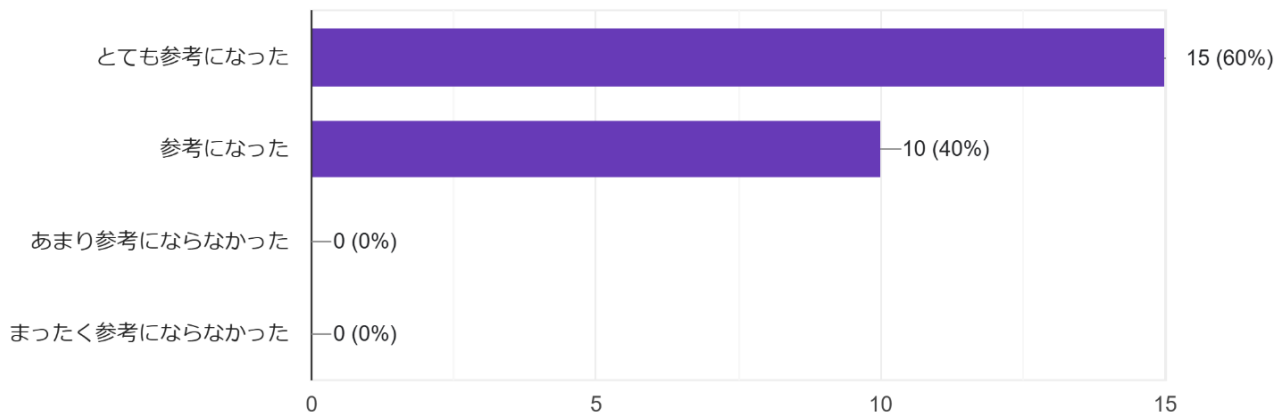


- ① 病院・施設・事業所の広報ポスター
- ② 知人・友人
- ③ 職場
- ④ 所属している職能団体からの連絡
- ⑤ 幹事

① 病院施設事業所のポスター	1
② 知人・友人	0
③ 職場	13
④ 職能団体からの連絡	8
⑤ その他	3

「事例共有、グループワーク」について

25件の回答



①とても参考になった	15
②参考になった	10
③あまり参考にならなかった	0
④まったく参考にならなかった	0

「事例共有、グループワークについて」の感想(自由記載)

- ・色々な職種の人と意見交換できて良かったです
- ・職種によって活用できるサービスを学ぶ事ができた。
- ・他職種によって提案できることが違ったりとても興味深かったです。
- ・職種が4種類だったためいろんな意見が出され参考になった。
- ・他職種の方の貴重な意見を聞くことができました。今後自分が在宅訪問する際に今回の事例のような患者様がいたら対応の参考にしたいと思います。
- ・薬剤師だからか、薬をきちんと服用させる事を第一に考えてしまいましたが、もっと広く見て何が重要か考える事を学びました。
- ・今回、提供された事例は介護支援専門員として類似したケースを担当しており、身につまされるものでした。
- ・途中参加のため参加できず
- ・色々な分野で自分では気づかない意見を聞けて良かった。
- ・それぞれの職種からの意見が聞けて参考になりました。
- ・多職種の方と話すことができ、学びになった。また、グループに所属している役職により、深める意見が異なることが面白かった。グループワークは面倒という意見もあると思うが、多職種の考えを聞く機会はなかなかないため今後も参加したいと思った。
- ・対話を通じて事例がふかまりました。ヘルパーさんの購入可能なものについては知りませんでした。
- ・患者本人以外の人物へのアプローチなど別の職種ならではの視点や意見が聞けて良かったです。

- ・異なる職種の意見をたくさん聞けたのでとても参考になりました。特に薬剤師さんの意見はとても新鮮で、担当薬剤師、という言葉も初めて聞けたので、新たなサービスとして連絡を取ってみたいと思いました。あとは事例についてもよく関わられていてとても参考になりました。家で暮らしたいに寄り添える支援者っていいですね。ありがとうございました。
- ・多職種から入手できる情報はとても参考になると感じました。
- ・薬剤師、訪問看護、居宅、包括と様々な立場からの意見を聞いたのが大変勉強になりました
- ・ケアマネだけで行う事例検討会と違って、他職種が参加していたので、それぞれの立場からの意見が聞けて、とても参考になりました。
- ・他職種の意見はいろいろな視点がありとても参考になりました
- ・自分とは違う職種の方の話が聞けて良かったです。また、グループワークの話し合いの結果の共有でも今後に活かせる内容が聞けて参加して良かったです

全体を通じて感想などあればご記入ください。

- ・他職種対象の研修やって下さい
- ・様々な意見を聞く事で振り返りや、学びになった。
- ・他職種と関わる機会がなくとても勉強になりました。また参加したいと思います。
- ・様々な、職種の方の意見を聞けて、勉強になりました。
- ・みなさんのご意見大変参考になりました。今後の支援に活かしたいです。
- ・多職種連携についてを図る場として有意義な事例検討会でした。
- ・ためになりました
- ・事例検討会も久々でしたが、グループでの話し合いはとても有意義でした。
- ・グループワークの後に、現在の状況も聞くことができてよかった。本人の性格なども踏まえて考えられるよう今後も理解を深めていきたい。
- ・薬剤師さんは固まりがちなので、気にしてあげないといけません。
- ・実際の事例を題材に検討するのはとても参考になりました。
- ・いつもありがとうございます。また参加したいと思います。
- ・多職種の連携の必要性をさらに強く感じました。
- ・会場の広さもあり、グループワークをしても、他グループの声が聞こえず、グループ内の話が聞き取りやすかったです。
- ・いつも企画から準備して下さる方々に感謝しています。内容も地域に必要な事で他職種の方と顔見知りになれる事も助かって今す ありがとうございます

第 84 回 定例会『事例検討会』 #それでも家にいたい #在宅生活難しい
#皆でちからをだしあおうぜ」 報告書

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

在宅で暮らしている方の重症化が進んでいる。本人の希望ではあるが、それを受け入れようとする家族や支援者の考え方の変化もあるのか、在宅生活が難しいと考えられがちな方でも在宅で暮らしている方が増えている印象。統計的にみても独居高齢者は増えているだろう。そうした地域特有の背景についても理解してもらいながら、多様な暮らしがあることを理解し、それを支えるために多職種で協働して力を出し合う必要があることを伝えていく。

【タイムライン】

令和 7 年 1 月 20 日（月）

- 18：30～18：40 開会挨拶、西いぶり在宅ケア連絡会・事例検討について
講話：西いぶり在宅ケア連絡会 会長 佐藤 弘太郎
- 18：40～18：55 事例紹介
居宅介護支援事業所エバーグリーン
介護支援専門員 大場 ゆうこ 様
- 18：55～19：25 グループワーク
- 19：25～19：40 グループ発表
- 19：40～19：50 事例報告
- 19：50～20：00 質疑応答・次回予告
- 20：00 閉会

【参加者からの声】

- ・様々な意見を聞く事で振り返りや、学びになった。
- ・他職種と関わる機会がなくとても勉強になりました。また参加したいと思います。
- ・様々な、職種の方の意見を聞けて、勉強になりました。
- ・みなさんのご意見大変参考になりました。今後の支援に活かしたいです。
- ・多職種連携についてを図る場として有意義な事例検討会でした。
- ・事例検討会も久々でしたが、グループでの話し合いはとても有意義でした。
- ・グループワークの後に、現在の状況も聞くことができてよかった。本人の性格なども踏まえて考えられるよう今後も理解を深めていきたい。
- ・薬剤師さんは固まりがちなので、気にしてあげないといけません。
- ・実際の事例を題材に検討するのはとても参考になりました。

- ・いつもありがとうございます。また参加したいと思います。
- ・多職種の連携の必要性をさらに強く感じました。
- ・会場の広さもあり、グループワークをしていても、他グループの声が聞こえず、グループ内の話が聞き取りやすかったです。
- ・いつも企画から準備して下さる方々に感謝しています。内容も地域に必要な事で他職種の方と顔見知りになれる事も助かっています。ありがとうございます。

【報告者からのまとめ】

今回は、当連絡会開設当初によく実施していた事例検討会を行った。人それぞれに暮らし方があり、支援者にも柔軟な対応が求められていることを理解することを目的とした。今回の事例は、強い在宅生活への希望があるかたで、それは飲酒欲求、喫煙への欲求などからくるものではあったが、それでも在宅生活への希望があり、支援者間でたくさんの関りの工夫をしながら関わっているかただった。今回の様に、在宅生活は多様性という価値観からも多くの生活様式があり、支援者はそれを理解し、受け止めながら支援していくことが求められる。場合によっては、介護保険など既存のサービスだけではなく創意工夫して支援の方法を考え生み出していくことも求められる。今回の事例検討会では、そうした支援者側の支援することへの考え方について理解が深まったと感じている。

第85回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ 『高齢者自動車運転からの卒業！』

日時 : 令和7年3月3日(月) 18:30~20:00

会場 : 胆振地方男女平等参画センター「ミンクール」
大研修室AB 室蘭市東町4-29-1

参加費 : 500円 (事前申込み不要、当日参加OK)

<内 容>

18:30~18:35 開会

18:35~18:50 高齢者運転の危険性

本輪西ファミリークリニック

院長 佐藤 弘太郎 先生

18:50~19:00 事故事例

室蘭警察署交通課 古賀 様

19:00~19:20 グループワーク

19:20~19:45 グループワーク内容共有

19:45~19:55 質疑応答

19:55~20:00 閉会



今月のポイント！

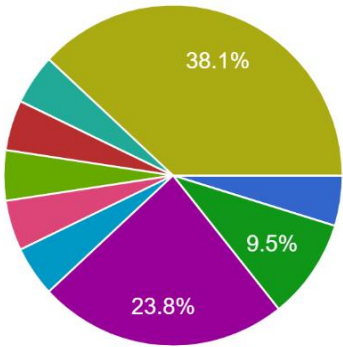
高齢者の交通事故は年々増加し、医療介護の専門職として非常に関心の高いテーマです。高齢者特有の身体機能の低下や疾患が運転に及ぼす影響をはじめ、運転に関する法制度の視点からも知識を深めたいと思っています。また室蘭警察署交通課から管内で起きた高齢者事故の実情もお話いただきます。日々の仕事の中で、運転免許の返納を進めてもなかなか難しい場合も多いですが、高齢者の事故防止の為に私たちができることを一緒に考えましょう。

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道社会福祉士会日胆支部

職種を教えてください。

21 件の回答



- ①医師
- ②歯科医師
- ③保健師
- ④看護師
- ⑤ケアマネジャー
- ⑥社会福祉士
- ⑦栄養士
- ⑧PT

▲ 1/3 ▼

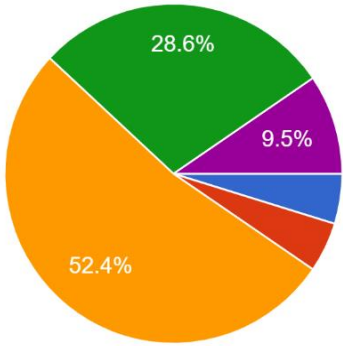
⑬薬剤師	8
⑤ケアマネジャー	5
④看護師	2
その他	6
	21

※アンケート回答者 21名

定例会参加者 33名

今回の研修会をどのように知りましたか？

21 件の回答

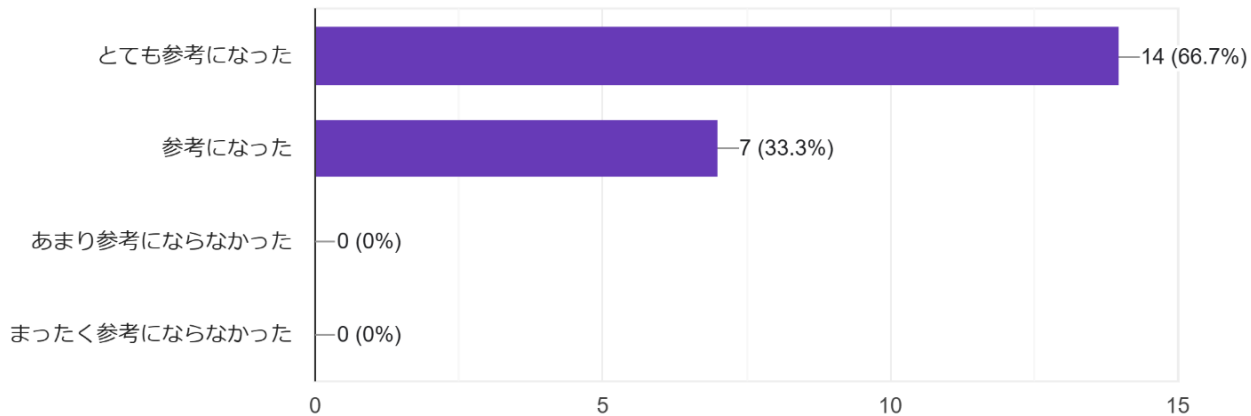


- ①病院・施設・事業所の広報ポスター
- ②知人・友人
- ③職場
- ④所属している職能団体からの連絡
- ⑤当会幹事

①病院施設事業所のポスター	1
②知人・友人	1
③職場	11
④職能団体からの連絡	6
⑤その他	2

「高齢者運転の危険性」「事故事例」について

21 件の回答



①とても参考になった	14
②参考になった	7
③あまり参考にならなかった	0
④まったく参考にならなかった	0

「高齢者運転の危険性、事故事例について」の感想(自由記載)

- ・ 高齢者の運転はやはり危険だと再認識しました。警察からのお話しもわかりやすかった このお話しが高齢者やご家族にも聞いてほしい
- ・ 成功例は考える上で、参考になりました。
- ・ 大変勉強になりました！
- ・ 高齢者が事故を起こす危険性が高くなる理由として、身体的機能の低下や視野の狭窄、服用薬の影響など様々な要因があることを知ることができました。ニュースで高齢者の痛ましい事故を見る機会が多い中、免許の返納数が減少していることは意外だったと同時に、返納できない個々の理由と背景をもっと知る必要があると感じました。
- ・ とても勉強になりました
- ・ 高齢者による事故事例の原因図だったり、返納について口頭ではなく、資料があればもっとわかりやすかったかなと思いました。
- ・ 高齢になると筋力低下や視野が狭くなる、判断力や記憶力など衰えるので自分の今後を考える機会になりました
- ・ 高齢者では危険だと感じた
- ・ 大変重要なことだと感じました。
- ・ 高齢の事故には様々な要素が絡み合っているのがわかった。
- ・ よく理解できました。やはり加齢に伴って、さらには認知症にも伴って能力は落ちることがわかりました。

高齢者の運転についてわかりやすく説明していただきました。認知機能もそうですが身体的に衰えるのは

- ・高齢者の運転についてわかりやすく説明していただきました。認知機能もそうですが身体的に衰えるのは当たり前ですが意外と盲点でした。理想としては、完全自動運転の車などが当たり前になる世の中になったらこの課題はまた違うものにもなるのでしょうかが現時点では、何かを諦めたり折り合いをつけねばならないんだと感じました。
- ・佐藤先生の用意してくださった資料が大変わかりやすかった。本人が納得するために移行期や妥協案を提案する考えに共感できた。
- ・登別市では介護タクシーが無いなど地区の情報が欲しかった
- ・警察の方の説明や事例を聞いて、まずは本人への気持ち、ご家族の思いを聞き、医師は仲介、意見をもらい段階を踏み、説得しないといけないと思いました。

「グループワーク」の感想(自由記載)

- ・他の職種からの意見も聞けてとても良かった
- ・よかったです
- ・意見交換の中で、運転歴が長い方ほど高齢でも運転技術に自信があり、「自分は事故を起こさないから大丈夫」と思っている方が多いように思いました。返納の時期や目安などを日ごろからご家族を交えて話しておくことがとても重要だと感じました。
- ・警察への免許返納の相談の仕方がわかりよかったです
- ・仕事で関わる高齢者の方々には尊重しながらうまく話しを持って行きたいが自分はまだまだ大丈夫だから・・・と言う人が多いと思った。認知症でも免許更新できてしまうシステムにも問題があるのではないかとも思いました。他職種の方々の事例を聞いてそれぞれ頑張っていると感じました
- ・よく患者さんを見ている方が多い
- ・成功事例を持っていた方がグループ内にいたので話が聞けて良かった
- ・様々な情報を得る良い機会となりました。
- ・成功体験の話を聞いて、運転をやめさせるために必要な要素などを知る事ができた。
- ・皆さんが工夫されて支援されていることがよくわかりました。また支援者も困っていることもわかりました。できるなら早めに説明しながら自ら返納という選択を出来るように、交通の利便性の向上を地域として作っていったり、活動が低下しないように介護保険など使えるものを説明したりしていきたいと思いました。

- ・看護師さんのお話を聞かせていただきました。他者からみたら運転やめた方が良くと思うのに本人は辞めたくない。その理由や背景は共通点もあれば個人的な趣味があったりと様々で、その問題を全て解消するのはハードルが高いなと思いました。成功例の方の話では、辞める代わりに、毎年旅行に行く、タクシーを使うとの条件をつけて辞めているなども聞きました。それぞれに合わせたアプローチが良さそうだなと思いました。
- ・買い物や通院などに関してはタクシーの利用など代替案を提案できるが、車が無くては出来ない本人の趣味や楽しみがあるという事がわかりどの様な関わりが出来るか考えていく必要があると感じた。
- ・最初に職能別に色分あったほうが分散できるのではないのでしょうか
- ・他の人の話も聞けてよかったです。

- ・全体を通じて感想などあればご記入ください

- ・いつも企画ありがとうございます。ケアマネが少ないかったのが残念です。わたしのまわりは、子育て世代、親の介護世代と中間がない為になかなか時間が遅くなると参加できないが現状です。年に数回早い時間で開催できないでしょうか。ご検討よろしく願いいたします、
- ・警察の方から生の話をきけたのが、よかったです。
- ・よかったです！
- ・薬剤師さんの方々が多くご参加されていたので、薬についての講義があれば参加したいです。
- ・リアルな話を聞けてよかった
- ・校正はとても良いと思います。グループワークはどんなテーマでも良い方法であると感じます。
- ・とても良い話がきけました。
- ・とても楽しく参加させてもらいました。認知症予防の点と絡めて大切な話題ですね。特に地域づくりという点でも西胆振の高齢化が進む地域としても免許返納後に使えるサービス等の開発が必要なんだと思いました。必要であれば行政に訴えていくことも必要かなと思いました。は
- ・他職種さんのお話はとても参考になります。今回と同じお題でも良いと思うくらい参考になりました。
- ・最後の閉会の挨拶であった自動車運転の終活の話は大変参考になった。自分の親にも話したいと感じた。
- ・免許返納までの流れやどのように相談するれば良いかなど貴重な学びとなった。多職種で連携して周りから固めて、返納までつなげることが大切だと感じた。
- ・他職種の方と話す機会ができてよかったです。また、このような機会があれば参加したいと思います。
- ・ありがとうございました。

第85回 定例会「高齢者自動車運転からの卒業」報告書

【担当幹事】 古屋 英一郎

【今回の目的】

高齢者の交通事故は年々増加し、医療介護の専門職として非常に関心の高いテーマであると考えます。高齢者疾患が運転に及ぼす影響をはじめ、今回は運転に関する法制度の視点からも知識を深めたいと考えました。室蘭警察署交通課から管内で起きた高齢者事故の実情をお聞きして高齢者の交通安全について考える機会にしたいと思います。高齢者の事故防止の為に私たちができることを考えましょう。

【タイムライン】

令和6年2月26日（月）

18:30～18:35	開会あいさつ
18:35～18:45	講義「高齢者運転の危険性」 講師 本輪西ファミリークリニック院長 佐藤弘太郎 先生
18:50～19:00	事件事例 室蘭警察署交通課 古賀 様
19:00～19:45	グループワーク 室蘭警察署刑事第一課長 高橋様
19:45～20:00	質疑応答
20:00	閉会

【研修内容】

「高齢者運転の危険性」

高齢者が自動車運転をすることの危険性について、様々な角度からの説明があり筋力や運動能力の低下により起こる危険性以外にも視野の問題や目の動きの低下などから様々な原因が考えられる。また薬の副作用についても大きな影響があることも知っておく必要があり、薬剤師などから意見を聞くことも大切であると説明があった。

運転免許の返納については本人の気持ちも話していただき、それについてかわりのある医師に意見をいただくことも必要であり段階を踏んでじっくりと話し合っしてほしいと説明があった。

「北海道での交通事故」

室蘭署交通課より口頭での説明があり交通事故死者数は減少しているが、事故件数については増えている。高齢者運転による事故も増えているが、事故を報告して

いないケースもあると考えられ、事故を起こすと警察に報告することが義務になっている。報告を受けた警察が傷などを確認し車以外に被害がないか、他人の財産に傷をつけていないかについても調べる必要があるため、家族が高齢者が運転している車の傷を見つけた場合は警察に相談してほしい。免許返納につい手の相談はいつでも受け付けていますと説明された。

「グループワーク」

グループワークのテーマを免許返納について成功事例や免許返納についての説明で苦労したことについて話し合ってもらった。成功事例については1件あり、返納について応じてくれたら年に1回家族で旅行に行く条件を付けたりタクシーを使用しても良いと条件を付けることで何とか成功した事例があった。

また高齢者の意見として自家用車の運転をやめると釣りに行ったり山に山菜を取りに行くときタクシーを利用することは非常に困難であり大好きな趣味ができなくなってしまうとの意見も聞かれ難しい問題であることを再認識した。

免許の返納については繰り返し検討していく必要があると感じられる研修会となった。

【参加者】

34名